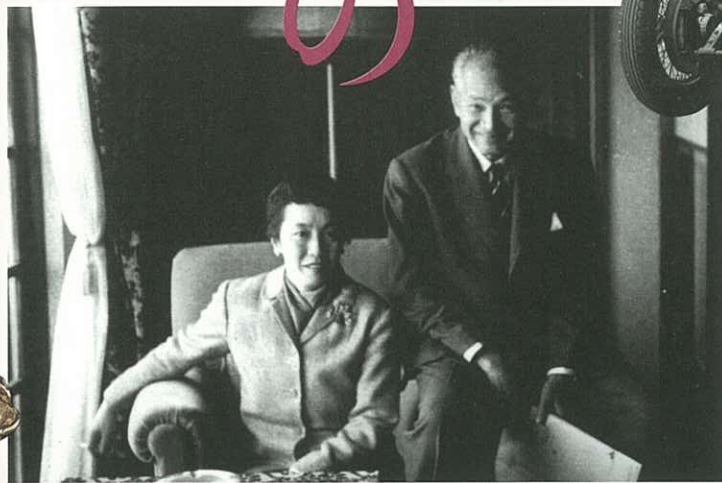
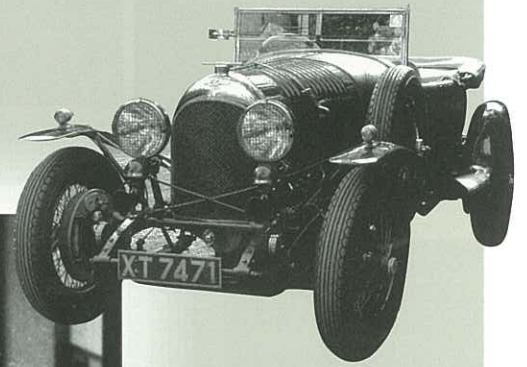


次郎流ダンディズム

特別展

白洲次郎 白洲正子の



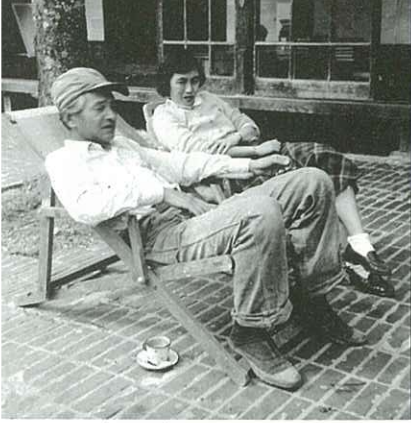
正子流美の世界



暮らし展

4月5日[木]—17日[火]
東武百貨店 池袋店 8F催事場
(1~2番地)
営業時間：午前10時～午後8時
※最終日は午後5時閉場 ※入場は閉場の30分前まで
主催：株式会社東武百貨店 後援：東京山喜株式会社 協力：武相荘

TOBU



自邸の庭でくつろぐ2人 1950年頃



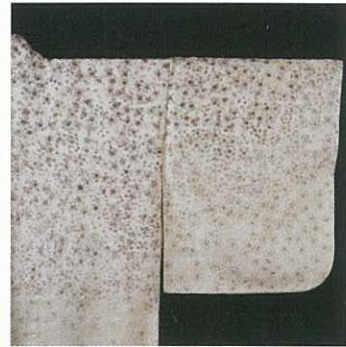
夕暮れの武相荘



旧白洲邸武相荘



菊牡丹梅立涌文小袖



着物 梅二月



次郎の愛車 ベントレー



金剛鈴・神護寺経鉄蝶形金具



田畑喜八(四代)作
麻地蜻蛉文帯



織部皿(江戸時代)



北大路魯山人作 有平縞湯呑

白洲次郎(1902-1985)と白洲正子(1910-1998)の生涯、そして彼らが終の棲家とした「武相荘」での暮らしは、近年大いに注目を集めています。

白洲次郎は終戦後の占領下の日本で、GHQと渡り合いながら憲法改正に尽力し、日本で最もカッコいい男と称されました。

そして、樺山伯爵家の令嬢として誕生した白洲正子は、幼少期から能を嗜み、鋭い審美眼で骨董の目利ぎとして広く知られています。

彼らは出会ってすぐに惹かれ合い、結婚。そして1943(昭和18)年には、戦禍を避けるため、鶴川村(現・町田市)に茅葺き屋根の民家を購入して移住します。鶴川周辺は「武蔵」と「相模」の国の境に位置することから、次郎は自邸を「武相荘」と命名し、自ら田畑を耕して、家具や生活用具を自製するなど、独自の生活スタイルを築きました。一方の正子は、着物の店「こうげい」を経営したのち、文筆業に専念するかたわら骨董を求め、それらを室内を飾る花器や日常食器として用いて、日々の暮らしに彩りを添えました。

本展では、次郎の身の回りの品や車、正子愛用の着物や骨董品など、旧白洲邸・武相荘が所蔵する白洲夫妻ゆかりの品々を展覧いたします。白洲次郎、白洲正子の生涯と、彼らの美しく豊かな暮らしを知る絶好の機会といえるでしょう。

入場料：一般800円(税込) 高校生以下無料
※障がい者手帳ご提示で、ご本人様と同伴者1名様までご入場いただけます。

イベント情報

武相荘館長 牧山氏トークショー

旧白洲邸 武相荘 館長 牧山圭男

白洲次郎と白洲正子に移り住み、形作り、生涯を通して愛した家「武相荘」娘婿の牧山氏が、お二人の「暮らし」について語ります。

- 日時：4月8日(日) 午後2時～ / 4月14日(土) 午後2時～
- 会場：東武百貨店 8F催事場 特設会場



「白洲家の暮らし」ギャラリートーク

古美術評論家 青柳恵介

風の男 白洲次郎(新潮文庫)の著者 青柳恵介氏が皆様と一緒に会場を巡り、白洲家の暮らしを語ります。

- 日時：4月7日(土) 午前11時～
- 会場：東武百貨店 8F催事場 白洲次郎・正子の暮らし展



ギャラリートーク参加希望の方は、白洲次郎・正子の暮らし展の会場内に集合してください

TOBU

池袋 東武

豊島区西池袋1-25 〒171-8512 TEL.代表/03-3981-2211

<http://www.tobu-dept.jp>

営業時間：午前10時～午後8時
B2F～3F、6F(3～7番地)、9F・10Fは
日曜・祝日を除く毎日午後9時まで営業。